

# 英語科 学習指導案

平成30年 8月28日 (火) 第校時 1年B組教室

授業学級 1年B組 (40名)

授業者 指導教諭

1 題材名 Lesson 5 Get Part1 (NEW CROWN ENGLISH SERIES 1)

2 主眼

疑問詞whoを学び、“Who am I?”ゲームをする場面で、やり取りのモデルとして教師の模範クイズに解いたり、教科書の会話を口頭練習したり、実際に自分自身で“Who am I?”ゲームを作る活動を通して、知らない・知っている人物に対して代名詞を用いて、質問・応答することができる。

3 本時の位置 (全8時間中 第1時)

前時:

次時: 疑問詞whereを学習し、友達の隠した物の場所を尋ねたり、応えたりすることができる。

4 本時の評価規準

ゲームを行う場面で、自分が設定した人物を口頭で紹介することができる。ペアが紹介する人物に対して知っているのか知らないのかを伝えることができる。

5 展開

段階	学習活動	予想される生徒の反応	◆学習内容 ◇教師の指導・援助	時間	備考
導入	1 Who am I? の例を見せながら、本時の見通しをもつ	ア最初のヒントで〇〇と言っていた。 イ設定した人物はどこで、何をしているのだろう。 ウひとつのヒントから質問して考えるのは面白い。自分もこのようなゲームをしてみたい。	◆教師が考えたWho am I?を、一つのヒントのみをスライドに提示する ◇追加で生徒に質問するように促しながらLesson Goalを提示する。 ◇教師のクイズを終えた後、今度は生徒たちが作るように促す。それと同時にToday's Goalを提示する。	7分	スライド ワークシート
	Today's Goal : Who am I? ゲームをしよう!				
展開	2 教科書の会話を口頭練習する。	エ誰なのかを尋ねる場合はWho is...?を言うことができる。 オ誰なのか答える場合はhe/she is...を使って返答することができる。性別によって使い分けが必要があるな。 カ読んで練習して慣れていきたい	◇疑問詞“who”の使い方・言い方を、教科書を通してながら板書したあと、口頭練習する。 ◇whoの疑問文に対する返答はどうすればよいか生徒に尋ねる。 ◆疑問文who...?とそれに返答する文を口語練習する。	15分	フラッシュカード
	3 Who am I? ゲームをつくる	キその人物になりきるなら、主語はIにする必要がある。 ク自分の好きなスポーツ選手にしよう。この選手は男だから、manが使えそうだ。 ケその人物は、何が好きなのか、何をやっているのかを「I like/have...」で書けるな。	◇ワークシートを配り、設定したい人物を考えるように促す。その際に、その人物になりきって考えるように伝える。 ◆設定した人物を示す3文を書くよう促す。3文目に近づくほど特徴的なヒントにするよう促す。 ◇机間指導を行う。	5分	
展開	4 Who am I? ゲームをする。	コペアの考えた3つの文だけではわからない場合は「Please give me a hint.」と言うようにしよう サ3文言い終わったあとに、「who am I?」を言い忘れないようにしよう。	◇ゲームを行う前にルール説明をいくつか提示する。 ◇相手の設定した人物がわからない場合の表現を板書する。 ◆ペアでwho am I? ゲームを行う。 ◇机間指導をする。	15分	
	本時の評価規準に達していない生徒への手だて ①ペアで上手にゲームができていない場合は、個別支援を行い、板書した内容を確認しながら、共に口頭練習する。				
終末	5 本時を振り返る	シ自分の設定した人物を皆が知っているか気になる。共有したい	◇ペア同士でのゲームを終えた後数人全体で発表するように促す。	8分	
		ス ペアとゲームをして、分からない場合でも、「I don't know.」と伝えることができた。 セ“Who am I?”ゲームを通して“who”や代名詞の使い方を学ぶことができ、面白いと思った。 ソ授業以外でもやってみたい。	◇本時の活動の振り返りをワークシートに書くように促す。 ◇スやセのような振り返りがあれば、全体で共有するように促す。 ◇今回だけの活動ではなく、ルールを変えて休み時間などで、このゲームをやってみるように伝える。		

6 反省